

陸連時報 第三

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

2013

6

月号
平成25年

第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ)

マラソン、競歩日本代表選手

8月10日から18日までロシア・モスクワで開催される第14回世界陸上競技選手権大会。マラソン・競歩の日本代表選手を紹介致します。

【マラソン (男子 5名)】

前田 和浩 (まえだ・かずひろ)

九電工・福岡 1981.4.19生 (32歳)

167cm・56kg 白石高校 (佐賀) →九電工

選考大会結果: 2013年東京マラソン4位 (日本人1位) 2時間08分00秒、世界選手権出場回数: 2大会ぶり3回目 (2013・2009・2007)

自己ベスト: 2時間08分00秒 (2013年東京マラソン)

主な実績: 2009年世界選手権マラソン39位、2007年世界選手権10000m17位

堀端 宏行 (ほりばた・ひろゆき)

旭化成・宮崎 1986.10.28生 (26歳)

189cm・69kg 八代東高校 (熊本) →旭化成

選考大会結果: 2012年福岡国際マラソン2位 (日本人1位) 2時間08分24秒

世界選手権出場回数: 2大会連続2回目 (2013・2011)

自己ベスト: 2時間08分24秒 (2012年福岡国際マラソン)

主な実績: 2011年世界選手権マラソン7位

川内 優輝 (かわうち・ゆうき)

埼玉県庁・埼玉 1987.3.5生 (26歳)

175cm・62kg 春日部東高校 (埼玉) →学習院大学→埼玉陸協→埼玉県庁

選考大会結果: 2012年福岡国際マラソン6位 (日本人4位) 2時間10分29秒、2013年別府大分毎日マラソン1位 (日本人1位) 2時間08分15秒

世界選手権出場回数: 2大会連続2回目 (2013・2011)

自己ベスト: 2時間08分14秒 (2013年ソウル国際マラソン)

主な実績: 2012年世界ハーフマラソン21位、2011年世界選手権マラソン18位

藤原 正和 (ふじわら・まさかず)

Honda・埼玉 1981.3.6生 (32歳)

167cm・54kg 西脇工業高校 (兵庫) →中央大学→Honda

選考大会結果: 2012年ベルリンマラソン10位 2時間11分31秒、2013年びわ湖毎日マラソン4位 (日本人1位) 2時間08分51秒

世界選手権出場回数: 初出場 ※2003年パリ大会は欠場

自己ベスト: 2時間08分12秒 (2003年びわ湖毎日マラソン)

主な実績: 2001年ユニバーシアードハーフマラソン1位

中本 健太郎 (なかもと・けんたろう)

安川電機・福岡 1982.12.7生 (30歳)

173cm・58kg 西市高校 (山口) →拓殖大学→安川電機
選考大会結果: 2013年別府大分毎日マラソン2位 (日本人2位) 2時間08分35秒

世界選手権出場回数: 2大会連続2回目 (2013・2011)

自己ベスト: 2時間08分35秒 (2013年別府大分毎日マラソン)

主な実績: 2012年オリンピックマラソン6位、2011年世界選手権マラソン10位

【マラソン (女子 3名)】

木崎 良子 (きざき・りょうこ)

ダイハツ・大阪 1985.6.21生 (27歳)

157cm・43kg 宮津高校 (京都) →佛教大学→ダイハツ

選考大会結果: 2013年名古屋ウィメンズマラソン1位 (日本人1位) 2時間23分34秒

世界選手権出場回数: 初出場

自己ベスト: 2時間23分34秒 (2013年名古屋ウィメンズマラソン)

主な実績: 2012年オリンピックマラソン16位、2010年世界ハーフマラソン10位

富士 加代子 (ふくし・かよこ)

ワコール・京都 1982.3.25生 (31歳)

160cm・45kg 五所川原工業高校 (青森) →ワコール

選考大会結果: 2013年大阪国際女子マラソン2位 (日本人1位) 2時間24分21秒

世界選手権出場回数: 2大会ぶり5回目 (2013・2009・2007・2005・2003)

自己ベスト: 2時間24分21秒 (2013年大阪国際女子マラソン)

主な実績: 2012年オリンピック5000m予選、10000m10位、2009年世界選手権10000m9位、2008年オリンピック5000m予選、10000m11位

野口 みずき (のぐち・みずき)

シスメックス・兵庫 1978.7.3生 (34歳)

150cm・41kg 宇治山田商業高校 (三重) →ワコール→グローバル→シスメックス

選考大会結果: 2013年名古屋ウィメンズマラソン3位 (日本人2位) 2時間24分05秒

世界選手権出場回数: 5大会ぶり3回目 (2013・2003・2001)

自己ベスト: 2時間19分12秒 (2005年ベルリンマラソン) =日本記録

主な実績: 2004年オリンピックマラソン1位、2003年世界選手権マラソン2位、2001年世界選手権10000m13位

【競歩〈男子20km競歩 2名〉】

鈴木 雄介 (すずき・ゆうすけ)

富士通・千葉 1988.1.2生 (25歳)
169cm・57kg 小松高校(石川)→順天堂大学→富士通
選考大会結果:2013年日本選手権20km競歩1位1時間19分02秒=当時日本記録、2013年全日本競歩能美大会1位1時間18分34秒=日本記録
世界選手権出場回数:3大会連続3回目(2013・2011・2009)
自己ベスト:1時間18分34秒(2013年全日本競歩能美大会)=日本記録
主な実績:2012年オリンピック20km競歩36位、2011年世界選手権20km競歩8位、2009年世界選手権20km競歩42位

西塔 拓己 (さいとう・たくみ)

東洋大学・広島 1993.3.23生 (20歳)
178cm・59kg 県立広島商業高校(広島)→東洋大学
選考大会結果:2013年日本選手権20km競歩2位1時間20分05秒
世界選手権出場回数:初出場
自己ベスト:1時間20分05秒(2013年日本選手権20km競歩)
主な実績:2012年オリンピック20km競歩25位、2012年世界ジュニア選手権10000m競歩4位

【競歩〈男子50km競歩 3名〉】

谷井 孝行 (たにい・たかゆき)

SGHグループさかわ・京都 1983.2.14生 (30歳)
167cm・57kg 高岡向陵高校(富山)→日本大学→佐川急便→SGHグループさかわ(2013年度より登録名変更)
選考大会結果:2013年日本選手権50km競歩1位3時間44分25秒
世界選手権出場回数:5大会連続5回目(2013・2011・2009・2007・2005)
自己ベスト:3時間43分56秒(2012年日本選手権50km競歩)
主な実績:2012年オリンピック50km競歩代表(途中棄権)、2011年世界選手権50km競歩9位、2008年オリンピック50km競歩29位

荒井 広宙 (あらい・ひろおき)

自衛隊体育学校・埼玉 1988.5.18生 (24歳)
180cm・62kg 中野実業高校(長野)→福井工業大学→石川陸協→北陸亀の井ホテル→自衛隊体育学校
世界選手権出場回数:2大会連続2回目(2013・2011)
選考大会結果:2012年全日本50km競歩高島大会1位3時

間47分08秒
自己ベスト:3時間47分08秒(2012年全日本50km競歩高島大会)
主な実績:2011年世界選手権50km競歩10位

森岡 紘一郎 (もりおか・こういちろう)

富士通・千葉 1985.4.2生 (28歳)
184cm・66kg 諫早高校(長崎)→順天堂大学→富士通
選考大会結果:2013年日本選手権50km競歩2位3時間50分51秒
世界選手権出場回数:5大会連続5回目(2013・2011・2009・2007・2005)
自己ベスト:3時間43分14秒(2012年ロンドンオリンピック)
主な実績:2012年オリンピック50km競歩10位、2011年世界選手権50km競歩6位、2009年世界選手権20km競歩11位/50km競歩18位、2008年オリンピック20km競歩16位

【競歩〈女子20km競歩 2名〉】

瀨瀬 真寿美 (ふちせ・ますみ)

大塚製菓・徳島 1986.9.2生 (26歳)
161cm・50kg 須磨学園高校(兵庫)→龍谷大学→大塚製菓
世界選手権出場回数:4大会連続4回目(2013・2011・2009・2007)
選考大会結果:2013年全日本競歩能美大会1位1時間30分27秒
自己ベスト:1時間28分03秒(2009年日本選手権20km競歩)=日本記録
主な実績:2012年オリンピック20km競歩11位、2011年世界選手権20km競歩代表(途中棄権)、2009年世界選手権20km競歩7位

大利 久美 (おおとし・くみ)

富士通・千葉 1985.7.29生 (27歳)
161cm・46kg 西武文理高校(埼玉)→日本女子体育大学→富士通
選考大会結果:2013年日本選手権20km競歩1位1時間30分45秒、2013年全日本競歩能美大会3位1時間33分49秒
世界選手権出場回数:3大会連続3回目(2013・2011・2009)
自己ベスト:1時間29分11秒(2011年日本選手権20km競歩)
主な実績:2012年オリンピック20km競歩37位、2011年世界選手権20km競歩20位、2009年世界選手権20km競歩12位

【参考】第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ) マラソン・競歩 実施日程(4月25日現在)

開催期日:2013年8月10日(土)~18日(日)(※IAAFページより抜粋。時間は現地時間です。)
女子マラソン:8月10日(土)14:00 大会1日目/男子20km競歩:8月11日(日)17:00 大会2日目/女子20km競歩:8月13日(火)09:35 大会4日目/
男子50km競歩:8月14日(水)08:30 大会5日目/男子マラソン:8月17日(土)15:30 大会8日目

強化関連情報

強化委員会

日本陸連強化競技者・ディベロップメントアスリート 専任コーチ会議報告

日 時：2013年4月2日(火) 14時30分～

場 所：味の素ナショナルトレーニングセンター 大研修室

参加者：原田 康弘強化委員長、木内 敏夫強化副委員長、
酒井 勝充強化副委員長、山崎 一彦強化副委員長、永井
立子強化副委員長、伊東 浩司男子短距離部長、瀧谷 賢
司女子短距離部長、等々力 信弘投擲副部長、谷川 聡ハー
ドル部長、本田 陽混成部長、宗 猛男子中長距離・マラ
ソン部長、山下 佐知子女子中長距離・マラソン副部長、
今村 文男競歩部長、木越 清信幹事、平野 了幹事、強化
競技者（ゴールド・シルバー）専任コーチ、ディベロッ
プメントアスリート専任コーチ

内 容：2013年度の強化競技者・ディベロップメントア
スリート専任コーチ会議（以下、専任コーチ会議）を雨
の降る中であつたが、30名の専任コーチにご足労をい
ただき開催した。2012年11月に発足した新体制による
初めての専任コーチ会議であつたことから、以下に示し
た内容について強化委員会から説明がなされた。

1. 2013年度目標方針について

強化委員会組織の改組、派遣設定記録の設定、個人強化
システムの改編を行った旨の説明があつた。

2. 強化委員会組織の改編について

中長距離およびマラソンを統合して、新たに中長距離マ
ラソン部を立ち上げて、種目間の連携および交流を促進す
ることで、国際大会のスピード化に対応したいと考えてい
る旨の説明があつた。

また、これまでのジュニア育成部を強化育成部と名称を
変更して、これまでのジュニア世代に加えて、あらたに23
歳以下の世代を加えることで、これまでジュニア世代から
シニア世代までに強化の谷間があつたが、これを解消し一
貫強化システムを構築した旨の説明があつた。

3. 2013年度日本陸連強化競技者制度について

これについて、山崎副委員長から以下のとおり説明が
あつた。

これまでの強化競技者制度では、ブロックでの強化と個
人での強化が混在していたが、今回の改定で、個人として
の強化対象者とブロックでの強化対象者とを明確に区別し
た。具体的には、これまでのS、A、B、Cと4つの区分に
分けていたものを、ゴールドとシルバーの2つの区分にし、
ゴールドとシルバーに次ぐ区分として、ディベロップメン
トアスリートを認定した。強化競技者（ゴールド・シルバー）
に認定された競技者の強化事業は個人に充当される強化費
で実施することとし、ブロックで重点的にサポートする

ディベロップメントアスリートを中心とした競技者の為の
ブロック強化予算と区別することとした。

また、強化競技者の処遇に関する細則について平野幹事
から説明があり、今回の制度改正により合宿を行った際に
指導を受けたコーチ、トレーナー、栄養士等への謝金とし
ての支出、年間10万円までの医療費としての支出、交通
費の使用に関する規定の変更の説明があつた。

なお、強化費の使途について、謝金として支出可能な額
の上限について質問があつたが、現在検討中として引き取
り、今後の検討課題とした。

4. 重点国際大会選考方針について

世界選手権、アジア選手権、東アジア競技大会の選考方
針について原田委員長から説明があつた。選考要項の内容
については先月号の陸連時報に掲載されているので、こ
こでは省略する。

フロアからは、アジア選手権とユニバーシアードとの選
手の棲み分けについて質問があり、JOCへのエントリー期
限の関係もあるため、学生は個人がユニバーシアードへの
出場を希望した場合、選手の意思を尊重するとの回答が原
田委員長からなされた。

5. その他

その他として、2013年度競技会日程について、2013年度
国際大会について、グランプリ順位強化費、記録強化費、日
本記録強化費について、強化競技者・ディベロップメントア
スリート専用サイトについて、平野幹事から説明があつた。

日本陸連強化委員会目標方針発表・記者懇親会報告

4月2日(火)、日本陸連強化委員会は、味の素ナショ
ナルトレーニングセンター会議室において、目標方針発表
後、陸上競技担当記者との情報交換を目的に懇親会を開催
した。

出席は、日本陸連尾縣貢専務理事、原田強化委員長他日本
陸連強化委員会関係者14名、約51名の記者の方々であつた。

原田強化委員長から、2013年度強化委員会目標・方針
の説明があり、その中で強化委員会組織の改編、強化競技
者制度改定、重点国際大会のチーム編成方針について述べ
られた。その後、副委員長、部長及び副部長から、モスク
ワ世界選手権に向けた取り組みや抱負・展望、及び有力選
手の現況報告等を行った。

質疑応答や第2部の懇親会を含めて、有意義な会となつた。

●強化競技者研修会報告

日 時：2013年4月3日(水) 10時00分

場 所：味の素ナショナルトレーニングセンター 大研修室

参加者：原田 康弘強化委員長、木内 敏夫強化副委員長、

酒井 勝充強化副委員長、山崎 一彦強化副委員長、永井 立子強化副委員長、伊東 浩司男子短距離部長、等々力 信弘投擲副部長、千葉 佳裕ハードル委員、宗 猛男子中長距離・マラソン部長、山下 佐知子女子中長距離・マラソン副部長、今村 文男競歩部長、平野 了幹事、強化競技者（ゴールド・シルバー）7名、ディベロップメントアスリート28名が参加した。

内容：強化競技者・ディベロップメントアスリート研修会（以下、研修会）を開催した。強化競技者制度改定後初めての研修会となったため、改定の経緯、狙い、強化競技者の処遇の変更点についての説明がなされた。主な研修内容は下記の通り。

1. 2013年度目標方針について

強化委員会組織の改編、派遣設定記録の設定、個人強化システムの改編を行った旨の説明があった。

2. 2013年度日本陸連強化競技者制度について

山崎副委員長から強化競技者制度の改定についての説明

があった。主な内容は専任コーチ会議での説明参照。

3. ブロック強化事業について

各ブロックの部長と、今年度の合宿・遠征・研修などの強化事業の説明と、ブロックの強化方針の共有を行った。また、強化競技者及びディベロップメントアスリートの年間計画の確認など、ブロック強化計画とのすり合わせを行った。

4. 重点国際大会選考方針について

世界選手権、アジア選手権、東アジア競技大会の選考方針について原田委員長から説明があった。選考要項の内容については先月号の陸連時報に掲載されているので、ここでは省略する。

5. その他

その他として、2013年度競技会日程について、2013年度国際大会について、グランプリ順位強化費、記録強化費、日本記録強化費について、強化競技者・ディベロップメントアスリート専用サイトについて平野幹事から説明があった。

第40回世界クロスカントリー選手権大会報告

強化副委員長 木内 敏夫

1. 大会日時

2013年3月24日 12:00 ジュニア女子
12:30 ジュニア男子
13:15 シニア 女子
14:10 シニア 男子

2. 大会開催地 ポーランド・ビドゴシチ

3. 派遣期間 2013年3月19日～27日 9日間

4. 派遣スケジュール

3月19日 成田エクセルホテル東急泊 選手団全体ミーティング
3月20日 JAL407便12:25発 フランクフルト16:40着 ホリデイイン泊
3月21日 フランクフルト13:00発 ビドゴシチ25:50着（バス移動）滞在ホテル：サニイ ミル
3月22日 大会会場及び競技場で調整
3月23日 大会会場及び競技場で調整、テクニカルミーティング、全体ミーティング
3月24日 大会日、フェアウエールパーティ
3月25日 ビドゴシチ9:40発 ワルシャワ14:00着（バス移動）視察、ウエスティンホテル泊
3月26日 ワルシャワ発BA847便12:35発 ロンドン14:15着 ロンドン発JAL402便19:00発 成田16:00着

5. 日本代表選手団一覧 表1

6. 選手選考方法

・第48回千葉国際クロスカントリー大会（2月10日）

・第27回福岡国際クロスカントリー大会（2月23日）

の2大会の結果によりすべての代表選手を決定した。シニア男子については、上位2選手の欠場のため下位選手の補充をしない選考内規により4名の派遣とした。

7. 大会結果 表2

8. 総括

第40回世界クロスカントリー選手権大会はIAAFカウンシルメンバーであるシェピンスカ氏の郷里ビドゴシチで3年前に実施されて以来の開催であった。

大会エントリー49ヶ国、参加43ヶ国と、過去に70ヶ国を超える参加があった大会と比較すると低迷している。特に隣国ドイツが参加していない理由が理解できない。

新谷仁美選手（ユニバーサルエンターテインメント）が世界クロスカントリー選手権大会は7回目とのことで期待していたが、体調が今一つであったため上位入賞はならなかった。シニア女子の目標は個人20位台と30位台で4選手の合計100点での団体3位と高い目標を掲げ、シニア男子の目標は個人50位台～70位台の団体12位とした。

ジュニアはそれぞれほぼ期待通りの結果であったが、個人でアフリカ勢の一角を崩すことができなかったことが今後の課題と感じた。ジュニア女子の目標は個人10位、団体3位メダル獲得、ジュニア男子の目標は個人20位台～30位台の団体6位入賞とした。今回出場ジュニア代表選手は全体に高い素質の選手が多く今後十分に期待できる。

アフリカ勢以外に近年実力をつけているアメリカ、イギリス、オーストラリア勢が個人、団体でも侮れない状況に

ある。特に競技終了後アメリカチームはホテルで長時間真剣にミーティングを実施している光景が印象的であった。

今回の派遣で何が起こるか分からないことを実感した。それは、3月21日のフランクフルトからのLO382便フットハンザ航空とのコードシェア便がフットハンザ航空地上勤務者のストで欠航、さらに変更したLO378便13:35発も確約ができない状態であり、ホテル発10:00で空港に

出向いたが乗客でゴった返している状態でスタッフと相談の上、ドライバーの変更等の時間を待ってビドゴシチまでバスで移動する決断をした。13:00にフランクフルトの市内を出発、途中3回の休憩を挟んでビドゴシチのホテル到着25:50着の13時間の移動を初めて経験した。その状況にスタッフ、選手も大変協力的でこの場を借りて感謝申し上げたい。移動中の風景もドイツ国境に近づくベルリン付近から一面の雪景色となり、さすがに道路には積雪はなかったが、20~30cmの積雪量と判断した。

大会コースもテクニカルミーティングで積雪は除雪、アイスバーンは除去との説明であったが、大会当日4~5℃であったため溶け出して最悪のコース状況であった。ビドゴシチ到着の22日朝の気温が-13℃、23日が-11℃、最高気温も氷点下という状況であった。そのような気象条件に加えて、前回のコースの後半に心臓破りの丘を加えて、よりタフなコースとなり、大会では転倒者が続出した。

表1 第40回世界クロスカントリー選手権大会
(2013/ビドゴシチ) 日本代表選手団一覽

役職	氏名	所属
1 団長	細田 完二	理事
2 監督	木内 敏夫	強化委員会 副委員長
3 シニア男子コーチ	諏訪 利成	日清食品グループ
4 シニア女子コーチ	山下 佐知子	強化委員会 女子中長距離マラソン部 副部長
5 ジュニアヘッドコーチ	荻原 知紀	強化委員会 強化育成部
6 ジュニア男子コーチ	別府 健至	日本体育大学
7 ジュニア女子コーチ	有川 哲蔵	強化委員会 強化育成部
8 ドクター	真鍋 知宏	医事委員会
9 トレーナー	井上 直生	トレーナー
10 トレーナー	宮澤 那緒	トレーナー
11 渉外	山田 真理子	日本陸連事務局 事業部
氏名	所属	
1	矢野 圭吾 (やの・けいご)	日本体育大学 3年
2 シニア男子12km (4名)	小野 裕幸 (おの・ひろゆき)	日清食品グループ
3	本田 匠 (ほんだ・たくみ)	日本体育大学 3年
4	上野 渉 (うえの・わたる)	駒澤大学 4年
5	田中 華絵 (たかな・はなえ)	第一生命
6	鈴木亜由子 (すずき・あゆこ)	名古屋大学 3年
7 シニア女子8km (6名)	新谷 仁美 (にいや・ひとみ)	ユニバーサルエンターテインメント
8	井原 未帆 (いはら・みほ)	四国電力
9	阿部有香里 (あべ・ゆかり)	しまむら
10	石橋 麻衣 (いしばし・まい)	デンソー
11	山中 秀仁 (やまなか・ひでと)	日本体育大学 1年
12	林 辰也 (はやし・たつや)	惟信高校 3年
13 ジュニア男子8km (6名)	高橋 一生 (たかはし・かずき)	大曲工業高校 3年
14	西山 雄介 (にしやま・ゆうすけ)	伊賀白鳳高校 3年
15	廣田 雄希 (ひろた・ゆうき)	西脇工業高校 3年
16	一色 恭志 (いっしき・ただし)	豊川高校 3年
17	上原 美幸 (うえはら・みゆき)	鹿児島女子高校 2年
18	青木 奈波 (あおき・ななみ)	立命館宇治高校 3年
19 ジュニア女子6km (6名)	福田 有以 (ふくだ・ゆい)	須磨学園高校 2年
20	鷺見 梓沙 (すみ・あずさ)	豊川高校 1年
21	出水田真紀 (いずみだ・まき)	白鷺女子高校 2年
22	由水 沙季 (よしみず・さき)	筑紫女学園高校 2年



表2 第40回 世界クロスカントリー選手権大会
(2013/ビドゴシチ) リザルト

氏名	所属	順位	記録
シニア男子12km			
矢野 圭吾	日本体育大学 3年	77	36:05
小野 裕幸	日清食品グループ	80	36:22
本田 匠	日本体育大学 3年	70	35:22
上野 渉	駒澤大学 4年	79	36:18
団体 14位			
シニア女子8km			
田中 華絵	第一生命	75	26:56
鈴木亜由子	名古屋大学 3年	62	26:41
新谷 仁美	ユニバーサルエンターテインメント	82	27:20
井原 未帆	四国電力	77	27:01
阿部有香里	しまむら	64	26:46
石橋 麻衣	デンソー	85	27:28
団体 12位			
ジュニア男子8km			
山中 秀仁	日本体育大学 1年	52	23:40
林 辰也	惟信高校 3年	28	23:14
高橋 一生	大曲工業高校 3年	81	24:28
西山 雄介	伊賀白鳳高校 3年	59	23:50
廣田 雄希	西脇工業高校 3年	27	23:13
一色 恭志	豊川高校 3年	31	23:17
団体 5位			
ジュニア女子6km			
上原 美幸	鹿児島女子高校 2年	19	19:32
青木 奈波	立命館宇治高校 3年	43	20:28
福田 有以	須磨学園高校 2年	53	20:52
鷺見 梓沙	豊川高校 1年	18	19:28
出水田真紀	白鷺女子高校 2年	29	19:54
由水 沙季	筑紫女学園高校 2年	24	19:39
団体 4位			

しかし、ドクターに診察を受けたものはバスの酔い止め1名、トレーナー対応は日常の調整対応50名と大会当日のスパイクされた消毒処置13名、軽い捻挫処置が1名の計14名で全員無事に帰国した。

事前ドーピング検査が22日朝シニア男女5名指名されたが大会当日の指名はゼロであった。

ホクレン・ディスタンスチャレンジ2013大会要項

1. 主催 北海道陸上競技協会
2. 共催 日本実業団陸上競技連合、士別市、深川市、網走市、北見市
3. 主管 道北陸上競技協会、空知陸上競技協会、オホーツク陸上競技協会
4. 後援 北海道新聞社、北海道文化放送
5. 協賛 ホクレン
6. 運営協力 日本陸上競技連盟・強化委員会
7. 会場・期日・種目

	会場	場所	期日	種目
男子	第1戦・士別大会	士別市営陸上競技場	6月26日(水)	1500m、3000m、5000m
女子				1500m、3000m、5000m
男子	第2戦・深川大会	深川市陸上競技場	6月29日(土)	1500m、5000m、10000m
女子				1500m、3000m、10000m
男子	第3戦・網走大会	網走市営陸上競技場	7月3日(水)	800m、1500m、5000m、10000m
女子				800m、1500m、3000m、5000m
男子	第4戦・北見大会	北見市東陵公園陸上競技場	7月6日(土)	800m、1500m、5000m、10000m
女子				800m、1500m、3000m、10000m

※1 ペースメーカーは、主催者が準備する。
 ①主催者が準備するペースメーカー以外は認めない。
 ②設定ペースについては、事前に協議し決定する。

8. 参加資格

- (1) 2013年度日本陸上競技連盟登録競技者。
- (2) 2012年1月1日～2013年6月9日の間に参加標準記録に到達した者。(トラックのみ有効)

(3) 参加標準記録

種目	800m	1500m	5000m	10000m
男子	1'55"00	3'55"00	15'00"00	30'00"00
女子	2'15"00	4'30"00	17'00"00	34'00"00

- (4) 参加標準記録を設けない種目は、日本陸上競技連盟登録競技者に参加資格を与える。
- (5) 北海道陸上競技協会が推薦する北海道陸上競技協会登録選手
- (6) 日本陸上競技連盟強化委員会が推薦する選手
- (7) 日本実業団陸上競技連合が推薦する選手

9. 申込方法

大会webサイト <http://www.jaaf.or.jp/distance/>より所定の様式をダウンロードし、e-mailで6月10日(月)18:00までに申し込む。

- * 欠場、種目変更の場合は、各大会の3日前(18:00)までに大会事務局に届け出る。
- * 直前の申し込みを認める。各大会の3日前(18:00)までに大会事務局に届け出る。
- * 欠場の場合も出場料は、徴収致します。
- * 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取扱います。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。

10. 参加料

- 事前申し込み(申し込み締切日まで)
 1種目につき1,000円
 直前申し込み(申し込み締め切り後)
 1種目につき2,000円
 *参加料は当日会場で支払うこと。

11. 大会事務局

12. 強化費

- (1) 大会強化費を支給する。(日本人選手のみ対象)
- (2) 大会強化費支給基準は、別途定める。
- (3) 大会強化費受給対象者から、該当大会終了後60日を超えて振込口座申請書の提出が無い場合は受給権を放棄したものとみなします。

13. 連絡先

- (1) エントリー関連担当:
木路修平 (e-mail:kijisy@nifty.com)
- (2) その他全般担当:
日本陸連 事務局 三宅 聡
TEL.03-5321-6580 FAX.03-5321-6591
(e-mail:miyake@jaaf.or.jp)

JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会 (公益財団法人日本体育協会公認陸上競技指導員) 専門科目開催要項

普及育成委員会

目的:地域スポーツクラブ(スポーツ少年団を含む)、小・中・高校生の部活動において発育発達段階を考慮した、競技者育成のための基本指導ができる指導者を養成する。

主催:公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本体育協会

主管:公益財団法人日本陸上競技連盟普及育成委員会、開催地陸上競技協会

1. カリキュラム

- (1) 共通科目 35h (NHK学園 通信講座)
(2) 専門科目 40h (集合講習30h / その他10h) *表1参照

表1

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
1. 種目の特性に応じた基礎理論	①	発育発達段階を踏まえた競技者の育成	2h	1h	3h
	②	指導における各種理論	5h	3h	8h
	③	陸上競技の主なルール	1h	1h	2h
	④	部活動の運営と地域クラブ	1h	2h	3h
2. 実技指導法	①	陸上競技の種目別指導	19h	1h	20h
3. 実技指導演習	①	陸上競技の種目別指導の方法	2h	2h	4h
合計			30h	10h	40h

2. 開催地/日程/会場/受講者数 *表2

表2

開催地	日程	会場	日数	受講者数
北海道	2013年8月8日~11日	北海道大学(札幌)	1週 4日間	各会場 40名 程度
岩手	2013年9月14日~15日、 10月12日~13日	岩手大学	2週 4日間	
福島	2013年9月14日~15日、 9月28日~29日	福島大学	2週 4日間	
福井	※調整中			
埼玉	2013年10月26日、11月2日、 12月14日、12月28日	上尾運動公園 陸上競技場	隔日 4日間	
山梨	※調整中			
三重	2013年12月21~23日	三重県営総合 運動場	1週 3日間	
和歌山	2013年8月7日~8日、 8月12日~14日	紀三井寺公園 陸上競技場	2日 5日間	
愛媛	※調整中			
広島	2013年12月7日~8日、 2014年1月25日~26日	広島大学	2週 4日間	
沖縄	2013年8月開催予定	※調整中		

*日程・会場につきましては確定次第ホームページに掲載します。変更になる場合があります。

3. 受講条件

受講年度の4月1日現在満18歳以上で、現在陸上競技の指導に携わっている者。もしくは将来陸上競技の指導に携わることがある者(学生など)で、日本陸上競技連盟普及育成委員会が認める者。

4. 受講申込

受講申込みについては以下の内容を確認し、期限は厳守すること。期限以後の申請は受け付けません。

- (1) 申込期間 6月1日~6月30日 (*期限厳守)

- (2) 申込書類の取り寄せ

以下の内容を同封して申込書類を取り寄せる

- ・氏名、住所、電話番号を記載したメモなど
- ・切手を貼付した返信用封筒(角2サイズ:A4用紙の入る大きさ ※住所・氏名を必ず記載)

*切手料金:1部140円/2部200円/3~4部240円/5部390円(全て定形外) *複数部を希望の場合、必要部数を必ず記入すること(6部以上希望の場合は問合わせ)

- (3) 申込方法

受講申込書に必要事項を記入し、日本陸上競技連盟へ提出する。免除該当者は証明書類(認定証・修了証等)の写しを必ず添付すること。

<申込書類請求・提出先>

〒163-0717 東京都新宿区西新宿小田急第一生命ビル17階
日本陸上競技連盟 JAAF公認ジュニアコーチ係宛

5. 受講者の決定

- (1) 提出された受講申込書を日本陸上競技連盟普及育成委員会にて審査する。

- (2) 受講者として内定した者に、受講料振込の案内書類にて通知する>(*NHK学園の書類とは別送)

- (3) 受講内定後、受講料の支払いを完了した者を受講者として正式に決定する。

6. 資格認定

共通科目・専門科目の検定に合格(講習免除者を除く)し、指導者登録(登録の申請・登録料の納入)を完了した者は、次年度の10月1日付で、日本体育協会より「指導員」として認定され、「認定証」及び「登録証」が交付される。

7. 受講料

○専門科目:15,000円

*受講前の指定日までに日本陸上競技連盟へ振込みをする
*専門科目受講に対して一旦納入された受講料は、理由の如可を問わず返金しない *振込後、都合により受講できない場合、振込年以降4年間は受講料が有効となる

○共通科目:21,000円

*8月下旬にNHK学園より送付される所定の用紙にて振込をする

8. 受講取消

受講者としてふさわしくない行為があったと認められた場合、日本陸上競技連盟普及育成委員会にて審査し、受講が取消されることがある。

9. 問合せ

専門科目講習会について

日本陸上競技連盟事務局 担当:西
〒163-0717 東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル17階
E-mail: junior-coach2013@jaaf.or.jp
TEL: 03-5321-6580 / FAX: 03-5321-6591

共通科目通信講座(NHK学園)について

日本体育協会 スポーツ指導者育成部育成課
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館2階
TEL: 03-3481-2226 / FAX: 03-3481-2284

国際陸連 (IAAF) マスターズ委員会報告

I A A F マ ス タ ー ス 委 員 会 委 員 室 伏 重 信

IAAFマスターズ委員会が、2013年2月23日にモナコで開催された。2011年のIAAF総会で、委員会は、2年の任期の後、コミッションに移行することが承認されているため、今回が最後の委員会会議となった。

委員会は、メキシコのモレノ委員長以下、イギリス、カナダ、スウェーデン、ドイツ、スペイン、ロシア、イタリア、中国、ニュージーランド、アメリカ、そして日本の計12名で構成されるが、電話会議での参加となったアメリカの委員以外の11名が最後の委員会会議に参集した。委員会には、IAAFのガブリエル事務総長がオブザーバーとして参加したほか、途中、会議場に顔を出したディアック会長からは、マスターズの今後への期待が語られるとともに、委員のこれまでの献身に対して感謝の言葉が贈られた。

会議の主な議題はつぎの通り。

1. IAAF報告、今後の予定、2013-2016の方針
2. WMA報告
3. 地域活動報告
4. マスターズ委員会からマスターズ専門委員会への移行

以下、特筆すべき内容について報告する。

【WMA会長報告】

WMA (= World Master Athletics) は、世界マスターズ陸上競技協会のことであり、世界のマスターズ陸上競技の統括団体である。国際マラソン協会 (AIMS)、国際ウルトラマラソン連合 (IAU)、国際パラリンピック委員会 (IPC)、世界マウンテンランニング協会 (WMRA) とともに、IAAFの協力団体に位置づけられている。

WMAは、2年に1度の世界選手権を開催しているが、本年10月にはブラジルのポルトアレグレで第20回大会が予定されている。2012年には、IAUと協力して100km選手権、WMRAと協力してマウンテンランニング選手権が開催された。

WMAには164か国・地域が加盟しているが、必ずしも、運営がうまくいっている連盟ばかりではないことが報告された。多くの連盟は、予算が十分でなくWMAからの補助を希望しているが、WMAもIAAFが頼りである。IAAFからの支援が期待されている。

【地域活動報告】

委員会では、毎回、地域活動報告を発表することになっている。アジアの委員は、アジアマスターズ協会副会長である中国の王氏と日本の私の2人であるが、アジアマスターズの会長が日本の鴻池清司氏であることもあり、地域報告は例年、鴻池会長と内容調整のうえ、私が提出し発表を行ってきた。本年は、委員会活動最後ということもあり、アジアの諸問題も含め詳細な報告を提出したところ、各国委員から活発な意見が寄せられた。アジアでは、各国のマスターズ組織運営が不安定であり、コミュニケーションに問題があることが指摘される一方、積極的な競技会開催がなされていることから、隣接する地域、例えば、ヨーロッパ所属のロシアからのアジア選手権へのオープンでの参加希望が寄せられた。

他地域は、良いこと、当たり障りのないことしか報告しない傾向が強かったため、アジアの報告に対しては、厳しい意見もあったものの、問題点を公にした姿勢は高く評価された。

【委員会からコミッションへの移行】

委員会からコミッションへの移行にあたり、モレノ委員長からは、「マスターズ委員会は初期の目的を達成した。つぎの段階としてIAAFとWMAが一体となったコミッションの設立が不可欠であり、より強いメッセージをマスターズから陸上界に発信していきたい」との挨拶があり、昨年の委員会会議で選出された「移行の為の作業部会」からの案をまとめたコミッション骨子が審議され、4月に開催されるカウンシル会議への提案内容を決定した。

委員会は、IAAF総会で実施される各国陸連からの投票による選挙で委員が選出されるのに対し、コミッション委員は、IAAFカウンシルによる指名で選ばれる。よりマスターズ活動に精通したメンバーによる効率的な議論と施策提言が期待される。

作業部会で提案されたコミッションの構成は、IAAFとWMAから推薦された同数（最低各3名、うち各1名は女性）からなる。そのビジョンは、「年齢、性別、民族の別なく世界で陸上競技を愛好する人たちを一つひとつのファミリーとして結びつけた“生涯スポーツとしての陸上競技”の実現、促進を図ること」とされ、達成のためにIAAFとWMAの協力が確認された。

この会議をもって、マスターズ委員は2年の任期を終了し、IAAFカウンシル会議、IAAF総会の承認が得られれば、マスターズコミッションに業務が引き継がれる。

【IAAFディアック会長】

会議の途中にはIAAFディアック会長が出席し、これまでの委員会メンバーにねぎらいの言葉をかけていただいた。マスターズムーブメントは、生涯スポーツの広まりに伴い、世界中で高まりを見せていることから、IAAFも協力団体であるWMAと手を携え、支援を続けたいとの言葉があった。印象深かったのは、「スポーツイベントで、親が子供を応援するのと同じように、マスターズの大会では子供たちが、両親や祖父母の応援をしているのを見て非常に感動を覚えた。これこそが生涯スポーツの理想である」という会長の一言だった。これは、2年前の委員会、私が、「今後のマスターズのあるべき姿」として提案し、全委員から拍手をもって受け入れられた内容そのままであった。委員の任期を終えるにあたり、会長が私と同じ想いを持ち、今後のマスターズ活動への指針を示していただけたのは大変嬉しいことであった。



2月23日にモナコで開催されたIAAFマスターズ委員会

施設用器具委員会報告(12-2)

施設用器具委員会

◆平成24年度に公認した競技場及び長距離競走路

- (24.10.03～25.03.13)
- 8578 イーハトープ花巻(ハ) 日居城野(陸)
～A花巻市小瀬川第11地割～B花巻市総合体育館
コード番号037320 21km0975 10km 往復 新設 24.10.01～29.09.30
- 8579 羽後町営三輪(陸) 雄勝郡羽後町貝沢字捨三本塚25
第4種 300m 一部全天候 継続 24.10.13～29.10.12
- 8580 高島まほろば(50km歩)
高島町大字高島989番地先～割烹松志満前
50km 20km 10km 5km 自転車計測 周回 継続 24.10.01～29.09.30
- 8581 猪苗代湖(ハ) 猪苗代町総合体育館カメリーナ～
コード番号077190 21km0975 自転車計測 循環 新設 24.10.15～29.10.14
- 8582 木場潟公園(長) 小松市三谷町ら之部58
42km195 21km0975 20km 10km 周回 継続 24.12.01～29.11.30
- 8583 岐阜経済大学(陸) 安八郡神戸町大字柳原字西河原2117
第4種 400m 全天候 継続 24.11.25～29.11.24
- 8584 亀岡(運)(競) 亀岡市曾我部町穴太土洞33
第3種 400m 全天候 継続 24.10.18～29.10.17
- 8585 よしか・夢・花(ハ) 吉賀町防災センター前
～A金山谷入口 Bヨシワ工業正門前～吉賀町役場六日市庁舎横
21km0975 自転車計測 往復 継続 一部変更 24.09.09～29.09.08
- 8586 中央大学多摩校地運動施設(陸) 八王子市東中野742-1
第3種 400m 全天候 継続 24.09.01～29.08.31
- 8587 とかち帯広の森(ハ) 藤丸百貨店付近
～A帯広市南町9線～帯広市中央公園付近
コード番号017470 21km0975 自転車計測 往復 新設 24.10.31～29.10.30
- 8588 男鹿総合(運)(陸) 男鹿市船川港北詰字大沢田11
第4種 400m 一部全天候 継続 23.10.15～28.10.14
- 8589 東海大学湘南校舎(陸) 平塚市北金目4-1-1
第3種 400m 全天候 継続 24.11.01～29.10.31
- 8590 刃物のまち関シティ(長) 関市中池公園(陸)
～A塔ノ洞～B志津野～C塔ノ洞～関市中池公園(陸)
コード番号237120 42km195 21km0975 10km 自転車計測 周回 新設
24.10.15～29.10.14
- 8591 富士山(長) 県営船津浜駐車場
～A富士河口湖町役場前交差点先 B東恋路交差点
～船津浜駐車場
コード番号157040 42km195 自転車計測 循環 一部往復 新設 24.11.10～29.11.09
- 8592 関西学院第2フィールド 西宮市上ヶ原六番町3-47
第4種 400m 全天候 継続 24.11.01～29.10.31
- 8593 猪苗代町(運)(陸) 福島県耶麻郡猪苗代町字向川原1507
コード番号073140 第3種 400m 全天候 新設 24.11.04～29.11.03
- 8594 恵那峡(ハ) 恵那市武並町竹折
～A恵那市長島町永田 B恵那市三郷町佐々木
21km0975 自転車計測 循環 継続 24.10.15～29.10.14
- 8595 岩内(陸) 北海道岩内郡岩内町字宮園313
第4種 400m 土質 継続 24.11.20～29.11.19
- 8596 滝川スポーツセンター室内棒高跳
滝川市二の坂町東3-2-1 滝の川(運)
室内69 室内棒高跳 継続 24.12.19～29.12.18
- 8597 いたばしリバーサイド(ハ) 戸田橋(陸)前緊急道路
～A赤羽ゴルフ場前 B秋ヶ瀬橋手前
21km0975 自転車計測 往復 継続 一部変更 24.11.11～29.11.10
- 8597 そうじゃ吉備路(ハ) 総社商工会館前
～A総社市下林～総社スポーツセンター
コード番号337150 21km0975 10km 循環 新設 24.11.14～29.11.13
- 8598 高崎市榛名湖畔(長) 榛名山ロープウェイ榛名高原駅先
～県立榛名公園ビジターセンター先
コード番号107110 42km195 周回 新設 25.02.01～30.01.31
- 8599 千葉県総合スポーツセンター付設(長)
千葉県総合スポーツセンター(陸)
42km195 自転車計測 循環 継続 ～海浜幕張駅前交差点～ 24.12.01～29.11.30
- 8600 香川県立丸亀(競)付属(ハ)
丸亀(競)南・国道11号～坂出市粟島神社
21km0975 自転車計測 往復 継続 一部変更 ～香川県立丸亀(競) 24.12.01～29.11.30
- 8601 本都町(運) 沖繩県国頭郡本部町字浜元598
コード番号473180 第3種 400m 全天候 新設 24.12.01～29.11.30
- 8602 大館ハチ公(ハ)
大館市長根山(運)(陸)～大館市雪沢字小雪沢
21km0975 20km 10km 往復 一部循環 継続 24.03.23～29.03.22
- 8603 あいづ(陸) 会津若松市門田町大字御山字村上土地内
コード番号073150 第3種 400m 全天候 新設 24.12.01～29.11.30
- 8604 NDソフトスタジアム山形付設天童おくのほそ道(ハ)
NDソフトスタジアム山形～
21km0975 10km 循環 継続 24.11.23～29.11.22
- 8605 海陽町海部川清流(長)
海陽町まぜのおか「蛇玉運動公園」道路～
42km195 自転車計測 往復 継続 25.01.03～30.01.02
- 8606 北上陸上補助(競) 北上市相去町高前檀地内
第3種 400m 全天候 継続 24.03.01～29.02.28
- 8607 亀岡(運)(競)付設(10km) 亀岡市曾我部町穴太地内
10km 往復 継続 ～亀岡市碑田野町柿花字ノ奥 24.10.05～29.10.04
- 8608 さが桜(長) 佐賀県(総)(陸)前～
コード番号417080 42km195 10km 自転車計測 循環新設24.12.26～29.12.25
- 8609 湖西市複合運動施設アニメティブラザ(室内棒高跳)
湖西市吉美3294-48
室内70 室内棒高跳 新設 25.02.01～30.01.31
- 8609 東員町スポーツ公園(陸)
三重県員弁郡東員町大字北大社323
コード番号243090 第3種 400m 全天候 継続 24.10.16～29.10.15
- 8610 東員町スポーツ公園(陸)付属(10km)
東員町スポーツ公園(陸)～
10km 周回 継続 24.11.15～29.11.14
- 8611 広島広域公園(陸) 広島市安佐南区大塚西5-1-1
第1種(B)(多) 400m 全天候 継続 24.12.02～29.12.01
- 8612 福岡教育大学(陸) 宗像市赤間文教町1-1
第4種 300m 全天候 継続 24.12.01～29.11.30
- 8613 出水ツル(長) 出水市(陸)～出水市莊(蔵島)
42km195 循環 一部往復 継続 25.01.15～30.01.14
- 8614 今帰仁村・古宇利島(ハ)
今帰仁村総合(運)～古宇利島ふれあい広場
コード番号477210 21km0975 自転車計測 往復 新設 25.03.31～30.03.30
- 8615 広島広域公園補助(競) 広島市安佐南区大塚西5-1-1
(条件付)第3種 400m 全天候 継続 24.12.02～29.12.01
- 8616 幕張メッセ(ハ) 海浜大通りメッセ側
～A千葉三菱自動車前交差点 B新港機動隊派出所前交差点
～QVCマリンフィールド
21km0975 自転車計測 一部循環 往復 継続 一部変更 25.02.01～30.01.31
- 8617 大分市営(陸) 大分市西浜1-1
第1種(B) 400m 全天候 継続 25.03.01～30.02.28
- 8618 延岡西日本(長) 延岡市役所前～日向市鶴町
42km195 往復 継続 25.02.10～30.02.09
- 8619 鴻巣市立(陸) 鴻巣市鴻巣634-2
第3種 400m 全天候 継続 25.02.10～30.02.09
- 8620 海老名(運)(陸) 海老名市杜家4032-1
コード番号143150 第3種 400m 全天候 新設 25.01.27～30.01.26
- 8621 大村市(陸) 大村市玖島1-15
コード番号424060 第4種 400m 一部全天候 継続 24.08.20～29.08.19

8622	荒尾(運)(陸)	荒尾市荒尾字中川後田4110-4
	第4種 400m 土質 継続	24.10.13~29.10.12
8623	中央(運)(陸)	古河市下大野2528
	第2種(B) 400m 全天候 継続	25.04.01~30.03.31
8624	日立市市民(運)(陸)	日立市東成沢町2-15-1
	第3種 400m 全天候 継続	25.01.01~29.12.31
8625	三重県営総合(競)(陸)	伊勢市宇治館町510
	第1種 400m 全天候 継続	25.03.31~30.03.30
8626	県営総合(競)(陸)補助(競)	伊勢市宇治館町510
	コード番号244050 第4種 300m 全天候 継続	25.03.31~30.03.30
8627	大阪府服部緑地(陸)	豊中市服部緑地1-1
	第3種 400m 全天候 継続	24.11.13~29.11.12
8671	大阪城ホール	大阪市中央区大阪城3-1
	新	25.02.02~25.02.03
8628	越谷市立しらこぼと(運)(競)	越谷市小曾川729-1
	第3種 400m 全天候 継続	24.10.20~29.10.19
8629	佐久総合(運)(陸)	佐久市平賀字後家山及び東久保並びに瀬戸字宮田地内
	コード番号202060 第2種 400m 全天候 新設	25.03.06~30.03.05
8630	鳥取湖山池(長)	布勢(運)(陸)~A吉岡温泉入口 B鳥取市上段
	42km195 自転車計測 循環 一部往復 継続 一部変更	24.12.10~29.12.09
8631	びんご(運)(陸)	尾道市栗原町997
	第2種(B)(多) 400m 全天候 継続	25.02.07~30.02.06
8632	高知県立春野総合(運)(陸)補助(競)	高知市春野町若原2485
	第3種 400m 全天候 継続	25.03.08~30.03.07
8633	北九州市立本城(陸)	北九州市八幡西区御開4-16-1
	第1種(B) 400m 全天候 継続	25.04.01~30.03.31
8634	長崎県立総合(運)(陸)	諫早市宇都町27-1
	コード番号421030 第1種(多) 400m 全天候 継続	25.03.06~30.03.05
8635	日田市(陸)	日田市大字田島613-2
	第2種 400m 全天候 継続	25.03.20~30.03.19
8636	今帰仁村総合(運)付帯(長)	今帰仁村(運)内
	~A上本部小中学校入口バス停手前	
	B今帰仁村総合(運)内 C今帰仁村渡喜仁	
	42km195 自転車計測 往復 ~今帰仁村(運)内	25.03.31~30.03.30
8637	日産スタジアム	横浜市港北区小机町3300
	第1種(多) 400m 全天候 継続	24.12.12~29.12.11
8638	栃木県総合(運)(陸)	宇都宮市西川田4-1-1
	第1種(B) 400m 全天候 継続	25.04.01~30.03.31
8639	ゼットエーオリプリスタジアム	市原市岩崎536
	第2種(B) 400m 全天候 継続	25.05.15~30.05.14
8640	成田市中台(運)(陸)	成田市中台5-2
	第2種(B) 400m 全天候 継続	25.05.20~30.05.19
8641	順天堂大学さくらキャンパス(陸)	印西市平賀学園台1-1
	第3種 400m 全天候 継続	25.02.01~30.01.31
8642	町田市立(陸)	町田市野津田町2035
	コード番号133240 第3種 400m 全天候 新設	25.03.07~30.03.06
8643	石垣池公園(陸)	鈴鹿市桜島町7-1-3
	第3種 400m 全天候 継続	25.03.31~30.03.30
8644	尼崎市記念公園(陸)	尼崎市西長洲町1-4-1
	第1種(B) 400m 全天候 継続	25.03.25~30.03.24
8645	鳥栖市(陸)	鳥栖市蔵上町148-1
	コード番号414010 第4種 400m 一部全天候 新設	25.03.26~30.03.25

[栃木]	美原公園(陸)	第3種 400m	24.10.17~25.03.25
[埼玉]	川越(運)	第2種 400m	24.04.15~25.04.14
[東京]	板橋City(長)		25.03.01~25.03.23
[神奈川]	秦野市中央(運)(陸)	第4種 400m	25.04.05~26.04.04
[神奈川]	日産フィールド小机	第3種 400m	25.06.15~26.03.31
[石川]	小松(運)(陸)	第2種 400m	24.08.01~25.07.31
[静岡]	御殿場市(陸)	第2種 400m	24.12.09~25.03.31
[京都]	京都府立西舞鶴高等学校		
		第4種 300m	24.10.10~25.10.09
[兵庫]	加古川(運)(陸)	第1種 400m	25.03.01~25.03.31
[岡山]	倉敷(運)(陸)	第2種 400m	25.04.01~26.03.31
[香川]	香川高等専門学校詫間キャンパス		
		第4種 300m	25.02.26~26.02.25
[福岡]	福岡市平和台(陸)	第1種 400m	24.11.06~25.11.05
[長崎]	島原市営(陸)	第2種 400m	25.04.01~26.03.31
[鹿児島]	阿久根市総合(運)(陸)		
		第4種 400m	24.10.08~25.10.07

◆公認が廃止となった競技場及び長距離競走路

(24.10.03~25.03.13)

[北海道]	静内第三中学校(陸)	第4種 300m	25.03.31限り
[青森]	AOMORI(ハ)		24.11.30限り
[青森]	八戸市南郷(陸)	第3種 400m	24.12.11限り
[岩手]	五所湖一周公認(10km)		24.09.14限り
[山形]	長井市公認(陸)	第4種 300m	24.11.29限り
[福島]	会津(陸)	第4種 400m	25.03.31限り
[新潟]	新潟西(10km)		25.08.19限り
[新潟]	新潟市(長)		25.05.31限り
[静岡]	新居町民体育館(室内棒高跳場)		25.03.31限り
[愛知]	中日豊橋(ハ)		25.03.31限り
[広島]	北広島町千代田(運)(陸)	第4種 400m	24.09.30限り
[徳島]	県鳴門総合(運)(陸)付属(長)		25.07.28限り
[岐阜]	刃物のまち関シテイ(ハ)		24.09.30限り
[高知]	高知(長)		24.10.23限り
[福岡]	宇美町総合スポーツ公園(陸)		
		第3種 400m	24.07.31限り
[佐賀]	鳥栖市(陸)	第3種 400m	24.07.27限り
[沖縄]	石垣市(長)		24.09.30限り

◆種別変更のあった競技場

(24.10.03~25.03.13)

[三重]	東員町スポーツ公園(陸)		
		第2種⇒第3種(降格)	コード番号243090
[三重]	県営総合(競)(陸)補助(競)		
		第3種⇒第4種(降格)	コード番号244050
[長崎]	大村市(陸)	第3種⇒第4種(降格)	コード番号424060
[長崎]	長崎県立総合(運)(陸)		
		第2種⇒第1種(昇格)	コード番号421030

◆名称変更

(24.10.03~25.03.13)

[茨城]	男鹿市営(陸)	⇒男鹿総合(運)(陸)
[千葉]	臨海(競)	⇒ゼットエーオリプリスタジアム
[滋賀]	びわこフィールド	⇒びわこ成蹊スポーツ大学陸上フィールド
[福岡]	北九州市立本城公園(陸)	⇒北九州市立本城(陸)

◆検定延期が承認されている競技場及び長距離競走路

(25.03.13現在)

[岩手]	北上(陸)	第1種 400m	25.04.01~26.03.31
[山形]	鶴岡市小真木原(陸)	第2種 400m	24.10.24~25.04.30
[福島]	白河市総合(運)(陸)	第3種 400m	24.11.26~25.03.31
[茨城]	ひたちなか市(陸)	第2種 400m	24.04.01~25.03.31

国際陸連(IAAF)クロスカントリー委員会報告

副会長 澤木 啓祐 (IAAFクロスカントリー委員会委員)

IAAFクロスカントリー委員会は、世界クロスカントリー選手権(以下、世界クロカン)が開催された翌日3月25日にポーランドのビドゴシチで年1度の定例会議を行った。

委員会はケニアのオケヨ氏が委員長を務め、以下、チュニジア、ウガンダ、イギリス、ポルトガル、スウェーデン、スペイン、オーストラリア、イタリア、ベネズエラ、ロシア、カナダそして日本からの委員とあわせて13名で構成されている。

主な議題はつぎの通りであった。

1. 委員長挨拶
2. IAAF近況報告
3. 前回議事録承認
4. 2012/2013シーズン
5. 2013/2014シーズン
6. 2013年世界クロカン講評
7. 2015年世界クロカン準備状況
8. クロカンセミナー
9. クロカン関連規則修正
10. 地域でのユースクロカン実施
11. 将来展望
12. WMRA報告

特筆すべき内容について以下、詳述する。

【2012/2013シーズンの課題】

IAAFは、クロカンの世界的普及を目的として、主要レースからの申請を審査し、パーミット(承認)を与えている。主催者には、IAAFパーミットがあることで、レースの質の高さが証明されるというメリットがある。しかし3月に終了した2012/2013シーズンでは、パーミットを付与するにあたりIAAFが求めている世界ランキング上位選手出場数が条件を満たしたのは、全12レースのうち、2つしかなかったことが報告された。また日本とケニアのナイロビを除けば、ヨーロッパにしかレースがなく、現在、ヨーロッパ陸連が企画しているヨーロッパ・クロカン・サーキット開催が実現すれば、IAAFパーミットとの兼ね合いで影響は必至と思われる。レース主催者への財政面も含めIAAFからの何らかの支援が必要であることが確認された。

【2013/2014クロカンパーミットとスケジュール】

前記の通り、前シーズンに条件を満たすことができなかったレースへはIAAFが警告をするものの、次シーズンのパーミット再申請は受け付けることとした。しかし今後、条件を満たせない場合を想定し、補助金カットの可能性などパーミット規定に追加されることになる。今後の在り方として、条件を満たす少数のレースだけでパーミットを構成することもひとつの方法ではあるが、世界的普及という目的を考えれば、むしろヨーロッパ以外のレースを増やしていくべきであるという認識になった。IAAFからのさらなる財政支援が実現すれば、レースの質向上が期待されるので、2013/2014パーミット規定は大きな変更はしないこととした。

【ビドゴシチでの世界クロカン】

今回、世界クロカンが開催されたビドゴシチは、2010年に続いていたのホストとなったが、前回の経験を活かし、すばらしい大会であったと高い委員会内の評価であった。降雪など天候の変化により開幕直前でのコース手直しや除雪作業が必要であったが見事にやり遂

げた。

一方で、参加国数41は、1989年以来で最も少ない数字であった。特に近隣国からの参加が積極的でなかったことが指摘された。隣国ロシアは1975年以来、世界クロカンに不参加であり、今回、参加を見送った周辺国もあり、参加国数と参加者数の減少は深刻な問題である。今回、ジュニア男子の参加者数が、初めて、シニア男子の数を越えたこともあわせて報告された。

【次回の世界クロカン】

今回、世界クロカンは、2年後の2015年に中国の貴陽で開催されることになっている。委員会がこれまで要望し続けビドゴシチで実現した「世界クロカンに相応しい起伏や障害物の多いコースの設定」を、貴陽でも継承することを要望しており、IAAFが指名する競技の最高責任者、技術代表は特にこの点に留意することが望まれる。

また委員会は、世界陸上開催国で、世界クロカンを同年か2年前に実施することを推奨してきたが、北京で世界陸上が開催される2015年は、初めて同じ年に両大会が実施されるケースとなる。

【WMRA活動報告】

WMRAは、「世界マウンテンランニング協会」の略称である。ウルトラマラソンなどと同様、IAAFの協力団体として認知されており、クロカン委員会やロードランニングコミッションには、毎回、代表者がオブザーバーとして出席し共通する問題について話し合いを持っている。今回の委員会では、ゴゼリーノ会長からの現状報告のなかで、年々マウンテンランニングへの参加者が増加していることが報告された。

マウンテンレースは、IAAF規則ではクロスカントリーの項に含まれており、明確に定義された標高差(男子で750m~1200mなど)が、クロスカントリーとの違いを際立たせている。委員会は、マウンテンランニングの規則を独立させる提案に満場一致で賛同し、IAAF理事会に提案することとなった。

【クロカン関連の規則修正提案】

前述のマウンテンランニング規則を独立させる提案のほか、現行の規則に規定されているクロカンコースの周回距離の範囲「1750m~2000m」を「1500m~2000m」に変更することを委員会は検証し、IAAF理事会に提案することになった。

一方、IAAF競技コミッションから提案のあった世界クロカンの距離の変更、すなわち、シニアは男女ともに10km、ジュニアは男女ともに6kmとする提案を検討したが賛同は得られなかった。

規則ではないが、世界クロカン開催規定にある、実施種目と出場可能人数についての議論もなされた。特に、ジュニアについて、大会の経費負担を削減する方策として、5名出場して3名の記録でチーム順位を競う方法も提案されたが(現行は6名出場で4名の記録)、委員会としては、変更には反対という結論になった。

【地域クロカンと世界ハーフ選手権】

世界クロカンと地域クロカン選手権は、毎年交互に開催されることになっている。また世界クロカンと世界ハーフマラソン選手権も毎年交互に3月に開催されることになっている。つまり、地域クロカン選手権と世界ハーフマラソンの開催年が同じになるわけであり、双方の実施日が、重なりあわないよう十分調整する必要があることが確認された。

2013モスクワ世界選手権 (8/10~8/18) 参加標準記録突破者一覧 2013年5月5日現在

男子	標準記録 A/B	派遣記録	A・B・派	選手	所属	記録	年月日	大会名
100m	10.15/10.21	10.01	A・派	桐生 祥秀	洛南高	10.01	2013/4/29	織田記念
			B	山縣 亮太	慶應大学	10.17	2013/4/29	織田記念
			A・派	飯塚 翔太	中央大学	20.21	2013/5/3	静岡国際
200m	20.52/20.60	20.29	A	橋本 晃志	早稲田大学	20.35	2013/5/3	静岡国際
			B	小林 雄一	NTN	20.54	2013/5/3	静岡国際
			B	高橋 慧	富士通	20.55	2013/5/3	静岡国際
			B	齋藤 仁志	JUVVY-TC	20.56	2013/5/3	静岡国際
400m	45.28/45.60	44.86						
800m	1.45.30/1.46.20	1.44.08						
1500m	3.35.00/3.37.00	3.32.98						
5000m	13.15.00/13.20.00	13.06.16						
			A	大迫 傑	早稲田大学	27.38.31	2013/4/28	カージナル招待
			A	佐藤 悠基	日清食品グループ	27.39.50	2013/4/28	カージナル招待
			B	宮脇 千博	トヨタ自動車	27.41.57	2012/9/21	全日本実業団
10000m	27.40.00/28.05.00	27.28.36	B	清水 大輔	カネボウ	27.50.50	2012/4/21	兵庫リレーカーニバル
			B	村澤 明伸	東海大学	27.50.59	2012/4/29	カージナル招待
			B	長谷川裕介	エスピー食品	27.50.64	2012/11/24	ハ王子ロングディスタンス
			B	松岡 佑起	大塚製薬	27.59.78	2012/9/21	全日本実業団
110mH	13.40/13.50	13.32	A	野澤 啓祐	早稲田大学	49.15	2012/10/14	実業団・学生対抗
400mH	49.40/49.60	48.76	B	今関 雄太	渋谷幕張高教員	49.42	2013/5/3	静岡国際
			B	苗木 靖宏	チームアイマ	49.48	2013/5/3	静岡国際
3000mSC	8.26.00/8.32.00	8.14.47						
			A・派	鈴木 雄介 (決定)	富士通	1.18.34.	2013/3/10	全日本競歩能美大会
			A	西塔 拓己 (決定)	東洋大学	1.20.05.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A	森岡統一朗	富士通	1.20.14.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A	高橋 英輝	岩手大学	1.20.25.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A	藤澤 勇	A L S O K	1.20.38.	2012/2/19	日本選手権20km競歩
			A	吉田 琢哉	岩手大	1.20.47.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A	谷井 孝行	佐川急便	1.21.06.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A	荒井 広宙	北陸亀の井ホテル	1.21.10.	2012/2/19	日本選手権20km競歩
			A	藤木 隼人	東海大学	1.21.14.	2012/2/19	日本選手権20km競歩
			A	松崎 廣樹	東洋大学	1.22.06.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A	桶熊 敬史	陸歩クラブ	1.23.01.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A	山崎 勇喜	自体学	1.23.19.	2012/5/12	ワールドカップ競歩
			A	松永 大介	横浜高	1.23.56.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A	大隈 武士	J R九州	1.23.57.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A・派	山崎 勇喜	自体学	3.41.47.	2012/4/15	日本選手権50km競歩
			A・派	森岡統一朗 (決定)	富士通	3.43.14.	2012/8/11	ロンドン五輪
			A・派	谷井 孝行 (決定)	佐川急便	3.43.56.	2012/4/15	日本選手権50km競歩
			A	荒井 広宙 (決定)	北陸亀の井ホテル	3.47.08.	2012/10/28	全日本競歩高島大会
			A	明石 颯	東大クラブ	3.51.17.	2012/4/15	日本選手権50km競歩
			A	桶熊 敬史	陸歩クラブ	3.52.53.	2012/4/15	日本選手権50km競歩
4×100mR	39.20			日本 (山縣・江里口・高平・飯塚)		38.07	2012/8/10	ロンドン五輪予選
4×400mR	3.05.00			日本 (高瀬・金丸・石塚・中野)		3.01.04	2012/5/16	テグ国際
走高跳	2.31/2.28	2.31						
			A	山本 聖途	中京大学	5.71	2013/2/3	日本ジュニア室内オープン
棒高跳	5.70/5.60	5.74	A	荻田 大樹	ミズノトラッククラブ	5.70	2013/4/20	マウンツァックリレー
			B	澤野 大地	富士通	5.60	2013/3/15	2013 中国語文化大学国際室内招待
走幅跳	8.25/8.10	8.26						
三段跳	17.20/16.85	17.27						
砲丸投	20.60/20.10	20.88						
円盤投	66.00/64.00	66.64						
ハンマー投	79.00/76.00	79.41						
やり投	83.50/81.00	84.27	A・派	村上 幸史	スズキ浜松 A C	85.96	2013/4/29	織田記念
十種競技	8200/8000	8295	B	右代 啓祐	スズキ浜松 A C	8037	2012/6/3	日本選手権混成
女子	標準記録 A/B	派遣記録	A・B・派	選手	所属	記録	年月日	大会名
100m	11.28/11.36	11.09						
200m	23.05/23.30	22.62						
400m	51.55/52.35	50.59						
800m	2.00.00/2.01.50	1.58.68						
1500m	4.05.50/4.09.00	4.01.99						
5000m	15.18.00/15.24.00	15.03.24	A	新谷 仁美	ユニバーサルエンターテインメント	15.17.79	2012/10/5	岐阜国体
			A・派	新谷 仁美	ユニバーサルエンターテインメント	30.59.19	2012/8/3	ロンドン五輪
			A・派	福土加代子	ワコール	31.10.35	2012/8/3	ロンドン五輪
10000m	31.45.00/32.05.00	31.12.79	A	吉川 美香	パナソニック	31.28.71	2012/6/8	日本選手権
			B	萩原 歩美	ユニクロ	31.45.29	2013/4/28	カージナル招待
			B	小林祐梨子	豊田自動車	31.51.91	2012/9/21	全日本実業団
100mH	12.94/13.10	12.73						
400mH	55.40/56.55	54.68						
3000mSC	9.43.00/9.48.00	9.24.33						
			A・派	淵瀬真寿美 (決定)	大塚製薬	1.28.41.	2012/8/11	ロンドン五輪
			A	大川 久美 (決定)	富士通	1.29.48.	2012/2/19	日本選手権20km競歩
			A	川崎真裕美	富士通	1.30.20.	2012/8/11	ロンドン五輪
			A	岡田久美子	立教大学	1.32.22.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A	前田 浩唯	立命館大学	1.32.25.	2013/3/10	全日本競歩能美大会
			A	井上 麗	天満屋	1.32.43.	2012/2/19	日本選手権20km競歩
			A	前川 知美	三菱自動車岡崎	1.35.28.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A	道口 愛	コモディイイダ A C	1.35.39.	2013/2/17	日本選手権20km競歩
			A	浅田千安芸	DNP西日本	1.35.47.	2012/2/19	日本選手権20km競歩
4×100mR	44.00			日本 A (土井・高橋・福島・市川)		43.79	2012/5/3	静岡国際
4×400mR	3.33.00							
走高跳	1.95/1.92	1.96	B	福本 幸	甲南学園 A C	1.92	2013/4/14	豊洲選手権
棒高跳	4.60/4.50	4.63						
走幅跳	6.75/6.65	6.85						
三段跳	14.40/14.20	14.50						
砲丸投	18.30/17.20	19.16						
円盤投	62.00/59.50	63.70						
ハンマー投	72.00/69.50	73.38						
やり投	62.00/60.00	63.38	A	海老原有希	スズキ浜松 A C	62.83	2013/4/29	織田記念
七種競技	6100/5950	6346						

※所属は記録樹立当時。派遣記録は、日本陸連が定めた派遣設定記録。競歩については、日本陸連が定めた派遣条件であるA標準突破者のみを掲載
 ※男子ハンマー投の室伏広治は前回大会の成績により内定済み

大会観戦ガイド

第97回日本陸上競技選手権大会（混成競技） 第29回日本ジュニア陸上競技選手権大会（混成競技） 兼 第14回世界陸上競技選手権大会 （2013 / モスクワ）代表選手選考競技会

- ▼期日：6月1日（土）～2日（日）
- ▼会場：長野市営陸上競技場
長野県長野市東和田632
- ▼アクセス：
- JR「北長野」駅下車徒歩約20分
長野電鉄「朝陽」駅下車徒歩約15分
長野電鉄バス「運動公園」下車
上信越道「須坂長野東インターチェンジ」より約20分
- ▼種目：
- 男子
〈日本選手権〉十種競技
競技開始1日目10：45
競技開始2日目09：45
〈ジュニア選手権〉十種競技
競技開始1日目10：00
競技開始2日目09：30
- 女子
〈日本選手権〉七種競技
競技開始1日目11：30
競技開始2日目10：30
〈ジュニア選手権〉七種競技
競技開始11：15
競技開始10：30
- ▼問合せ先：
- 一般財団法人長野陸上競技協会事務局 TEL.0268-35-2132
- ※大会の詳細は日本陸連HP内、大会ページ
<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1081/>
で随時アップします！

第97回日本陸上競技選手権大会 兼 第14回世界陸上競技選手権大会 （2013 / モスクワ） 代表選手選考競技会

- ▼期日：2012年6月7日（金）～9日（日）
- ▼会場：味の素スタジアム
東京都調布市西町376-3
- ▼アクセス：京王線「飛田給」駅より徒歩5分
- ▼競技実施日：
- エントリー数により予選・準決勝がなくなる場合はあるが、決勝実施日に変更はない。
- 第1日目：6月7日（金）
- 男子 100m予選 / 400m予選 / 5000m予選 /
3000m障害物決勝 / 400mH予選 / 棒高跳決勝
- 女子 100m予選 / 400m予選 / 10000m決勝 /
100mH予選 / 400mH予選 / 走幅跳決勝 /
円盤跳決勝 / やり投げ決勝

原点という名の究極。

JAAF

97TH MOSCOW WORLD ATHLETICS CHAMPIONSHIPS

走 跳 投

Run Jump Throw

97TH MOSCOW WORLD ATHLETICS CHAMPIONSHIPS

日本陸上

競技選手権大会

6/7→9 会場：東京調布 味の素スタジアム
CHOFU TOKYO

ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。

主催 / 日本陸上競技連盟 共催 / 東京都、調布市、スポーツ振興東京2013調布市実行委員会
後援 / 読売新聞社、スポーツ振興東京2013実行委員会、東京都体育協会、調布市教育委員会、調布市体育協会 主催 / 東京陸上競技協会

特別協賛 ヤマサキ ASICS DOKU BANAI APPAREL NISHI セレスポ 特別協力 KEIO

第2日目：6月8日（土）

男子 100m決勝／200m予選／400m決勝／800m予選／1500m予選／10000m決勝／110mH予選／400mH準決勝／走幅跳決勝／円盤投決勝／やり投決勝

女子 100m決勝／200m予選／400m決勝／800m予選／100mH準決勝・決勝／棒高跳決勝／三段跳決勝／砲丸投決勝

第3日目：6月9日（日）

男子 200m 決勝／800m 決勝／1500m 決勝／5000m 決勝／110mH準決勝・決勝／400mH決勝／走高跳決勝／三段跳決勝／砲丸投決勝／ハンマー投決勝

女子 200m 決勝／800m 決勝／1500m 決勝／5000m 決勝／3000m障害物決勝／400mH決勝／走高跳決勝／ハンマー投決勝

▼テレビ放送予定：

1日目
6月7日（金） 19：00～20：50（NHK BS1）

2日目
6月8日（土） 16：00～18：00（NHK 総合）

3日目
6月9日（日） 16：00～18：00（NHK 総合）

▼チケット情報：

好評発売中！

▼問合せ先：

日本陸上競技連盟事務局 TEL.03-5321-6580

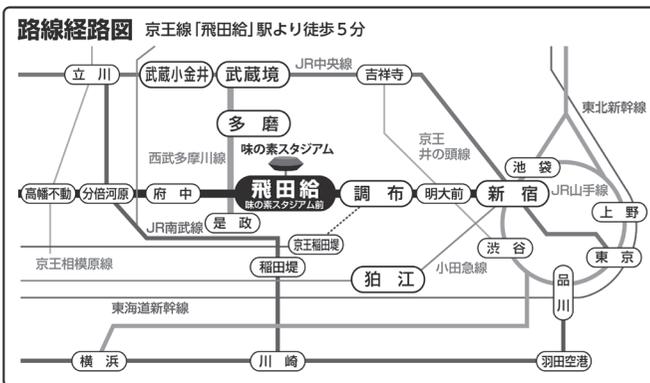
※大会の詳細は日本陸連HP内、大会特設ページ

<http://www.jaaf.or.jp/jch/97/index.php>

で随時アップします！

アクセス 大会専用の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

JAAF Japan Association of Athletics Federations



チケット情報

JAAF Japan Association of Athletics Federations

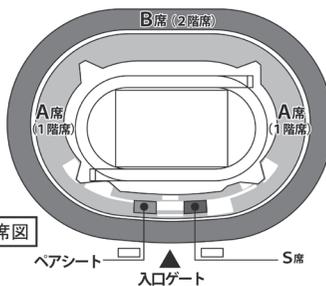
券種	入場券 (消費税込)						当日券			
	S席		A席		ペアシート		S席	A席	B席	ペアシート
	6/7(金)	6/8(土) 6/9(日)	6/7(金)	6/8(土) 6/9(日)	6/7(金)	6/8(土) 6/9(日)				
一般	¥3,000	¥3,500	¥1,500	¥2,000	¥3,000	¥4,000	¥3,500	¥2,000	¥1,000	—
中高生	¥2,000	¥2,500	¥1,000	¥1,500	—	—	¥2,500	¥1,500	¥500	—
シルバー	—	—	—	—	—	—	—	¥1,500	¥500	—
一般10枚セット	—	—	—	—	—	—	—	¥18,000	¥9,000	—

- B席は、土日のみの販売。
- 小学生以下は無料。
- ※S席は、座席数が少ないため無料入場対象者でも座席に座る際は、チケットを購入してください。
- ※ペアシートは2席セットの料金。
- チケットはエリア指定のみ。(座席指定なし)
- 中高生、シルバーの当日販売は、証明証の提示が必要。(シルバー割引は60歳以上が適用)
- 車椅子席等のお問い合わせは右下のチケットに関するお問い合わせ先まで。

【特典】
※前売券S席は、オフィシャルプログラムとテリープログラムが付いています。
※前売券A席、当日券S席は、テリープログラムが付いています。
※ペアシートは、テリープログラムが2部ついています。

競技開始時間につきましては、日本陸上競技連盟のホームページをご覧ください。

<http://www.jaaf.or.jp> [日本陸上競技連盟](#) [検索](#)



前売券取り扱い場所

ローソンチケット / チケットぴあ / e+ (イープラス) / CNプレイガイド
Lコード：37885 / Pコード：823-784

チケットに関するお問い合わせ先 ▲ TEL 03-5974-1192 (平日 10:00～18:00)

大会に関するお問い合わせ先 ▲ TEL 03-5321-6580 (平日 10:00～18:00)

JAAF 一般財団法人岡山陸上競技協会

OKAYAMA

〒700-0012 岡山市北区いずみ町 2-1-11 岡山県陸上競技場内
TEL : 086-214-3156 FAX : 086-214-3156
<http://www.tiki.ne.jp/oka-rikkyou/>

岡山県の主要大会のスタートとなる、第1回岡山県記録会を4月13、14の両日に開催し2013年度のシーズンを開幕。約1900名の選手がエントリーし、会場となった岡山県陸上競技場は終日にぎわいました。

同記録会は、競技運営をする者にとっても、審判講習会(実技)を兼ねた大会。2013年度のルール修改正の「スタート」や、3000mSCの最初の障害物の位置などの確認を入念に行いました。

そして、選手強化は、シーズン前の合宿から選手を指導している強化担当者が選手の調整具合をチェック。本格的なシーズンインに向け、再度課題の見直し等を行いました。

同記録会を通じて、競技者と、競技運営、強化が一丸となって、「最高のシーズンにしよう」と誓い合いました。

JAAF 一般財団法人香川陸上競技協会

KAGAWA

〒763-0053 丸亀市金倉町 830 番地
TEL : 0877-21-5710 FAX : 0877-35-9061
<http://gold.jaic.org/jaic/member/kagawa/index.htm>

例年、香川県では屋島陸上競技カーニバル大会にてトラックシーズンを迎えているが、昨年末に高松市屋島陸上競技場が改修工事に入ったことで、新たに設けられた「丸亀陸上競技カーニバル大会」が香川県立丸亀競技場にて開催されることで今年度のトラックシーズンを迎えることとなった。本大会には他県からも多くの選手に参加いただき、上々のスタートを切る事ができた。

また、平成26年度に全日中が休場で開催されることが決定し、それに向けての準備と選手育成に取り組んでいるところである。今シーズンにおける本県の選手の活躍とともに、来年度に向けて大きく飛躍する選手が多数現れることに期待したい。(文責/事務局長:山尾英二)

JAAF 一般財団法人広島陸上競技協会

HIROSHIMA

〒730-0011 広島市中区基町 4-1 県立総合体育館(財)広島県体育協会内
TEL : 082-223-3256 FAX : 082-222-6991
<http://www1.ocn.ne.jp/hrk34/index.htm>

第17回織田幹雄記念国際陸上競技大会を皆様のご協力により無事終えることができた。今年も昨年に続き、2日間開催とし、選手にとって記録の出しやすい、グラウンドの特性を生かしたタイムテーブルを組んだ。洛南高校の桐生祥秀選手が世界ジュニア記録と同じタイムを出し100m優勝。また、地元勢も活躍し、「2人で優勝して盛り上げたかった」という思い通り、同学年で同僚の木村文子選手と久保瑠里子選手が優勝。エディオンスタジアムが湧いた。5月4日には、「ひろしまストリート陸上」が行われた。これは、為末さんの声から生まれ、広島県体協の協力を得て行っている。広島では3年連続の実施となった。好天に恵まれ、全国都道府県対抗男子駅伝のスタート・ゴール地点となる平和大通りが、ハードルや棒高跳を間近で興奮しながら見る観客であふれ、陸上競技のおもしろさや迫力に魅了された。

JAAF 一般財団法人愛媛陸上競技協会

EHIME

〒790-0004 松山市大街道 3 丁目6-2 岡崎第五ビル 501号室
TEL : 089-968-2229 FAX : 089-968-2231
<http://www.ehime-rikuijyo.jp/>

平成25年度のトラックシーズンも始まり、徐々にですが競技場に緊張感と活気が戻ってきているように感じます。国体で使用する競技場は、サイドスタンドが完成し、付帯する大型映像装置も使用できるようになりました。ただ、使用に関するスタッフの養成など山積する問題も多く、一つひとつ解決していかなくてはと思っています。

また、愛媛国体まで当該年度を除く4年前の今年、理事・専門委員会の刷新を図り、国体まで体制を変えず準備・強化に邁進していく初年にしていこうと思っています。そして、陸上競技後進期の汚名を返上するべく新強化委員長を中心に新体制のなか、一丸となって全力で強化に当たる覚悟です。(文責/専務理事:中山桂)

JAAF 一般財団法人山口陸上競技協会

YAMAGUCHI

〒753-0815 山口市維新公園 4-4 維新百年記念公園陸上競技場内
TEL : 083-920-6125 FAX : 083-920-6125
<http://yaaf.jp/>

山口陸上競技協会は、約1年間の準備期間を経て国体が開催された2011年より一般財団法人化を行い、今年で3年目に入ります。この2年間で基盤づくりを行い、各理事がそれぞれの立場で2年間の任期でできるだけのことをやって参りました。2013年は第2期のはじまりです。定年制もあるため組織も改編され、専門委員会等の見直しも行いました。各種問題は山積みしていますが、山口県陸上競技の発展のために尽力して参りたいと考えています。来年度は9月に全日本実業団を開催予定です。一人ひとりの競技者、陸上競技に携わる方々を大切に協会の運営をしていきたいと思います。

(文責/事務局長 藤田昌彦)

JAAF NPO 法人 高知陸上競技協会

KOCHI

〒781-0311 高知市春野町芳原 2485 春野総合運動公園内
TEL : 088-841-9940 FAX : 088-841-9940
<http://npo-kochi.sports.coocan.jp/>

今年の陸上シーズンも4月13・14日開催の、高知陸上競技カーニバル大会でスタートしましたが、晴天に恵まれた中で、無事に大会を終える事ができました。大会競技のほかにも、トラックでは24年度の高知陸上競技協会優秀選手や指導者への表彰式を行い、競技会終了後には審判員伝達講習会を開催しました。新しい年度のはじまりということで競技者・審判他の関係者も皆が今シーズンの目標に向かっての1年間がはじまり、気持ちを新たにしていきたいと思います。

JAAF 一般財団法人徳島陸上競技協会

TOKUSHIMA

〒772-0011 鳴門市撫養町大桑島字津浜 6-23
TEL : 088-678-7914 FAX : 088-678-7921
<http://tokuriku.web.infoseek.co.jp/>

平成24年度より、競技審判員の定年制(満75歳)を導入したところ、7名の退任者が出ました。本陸協では、いずれもたいへんな戦力の方々でしたので、大きな痛手となったことは言うまでもありません。

そこで、本年の新規募集を新聞、ラジオ、インターネットとそれぞれで大々的に行ったところ、総勢31名の方々に応募していただき、先日4月13日に第1回目の講習会を実施しました。応募いただいた方々の内訳は、中学や高校で陸上部に所属していた方々が17名、市民ランナーが8名、競技経験は無いが、アナウンサーや情報処理業務などに興味を感じている方が6名ということで、関係者一同たいへん喜んでいるところです。

JAAF 一般財団法人福岡陸上競技協会

FUKUOKA

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-1-1 福岡朝日ビル B2F
TEL : 092-474-0002 FAX : 092-474-0002
<http://www.fukuriku.com/>

2013年の競技会シーズンが始まった。今年は、8月にモスクワで世界選手権が開催される年である。男子マラソンでロンドン・オリンピック6位入賞の中本健太郎選手(安川電機)や前田和浩選手(九電工)が有力候補に挙げられている。中本、前田両選手に続けとばかりに、最終選考会となる6月の日本選手権に向けて多くの選手が日々の練習に励んでいることであろう。福岡から、一人でも多くの代表選手が輩出できることを願っている。

福岡では、6月に全国高校総体の最後の関門である北部九州予選大会の運営協力と8月の九州中学陸上を主管する。福岡陸協として、万全の体制を整え、完璧な競技運営ができるよう鋭意準備を進めていきたい。(文責/総務部長:橋本忠志)

JAAF 一般財団法人佐賀陸上競技協会

SAGA

〒840-0852 佐賀市中折町 10-18 高橋正秀様方
TEL : 0952-23-8961 FAX : 0952-23-8961
http://www.sagarikujyo.jp/

4月7日、佐賀県で初めての日本陸連公認のフルマラソン佐賀桜マラソンが開催された。前々日よりの悪天候で強風予報により開催するかどうかを何回となく気象庁の天気予報で検討をし当日午前5時に開催を決定、午前9時1万人のランナーが無事にスタートした。完走率が90%を超える大会で、ランナーからも良い大会だったという感想をいただいた。

昨年5月に佐賀陸協の法人化をし、一般財団法人として1年が経過した。2年目の競技日程、役員体制などの理事会、評議員会での審議、また、1年目の決算に向け経理担当は毎日が大変な時期である。

JAAF 一般財団法人宮崎陸上競技協会

MIYAZAKI

〒880-0022 宮崎市大橋2-6-1 ヤヨイビル 5階
TEL : 0985-25-6011 FAX : 0985-25-6011
http://www.miyariku.org/

かつて全国実業団女子駅伝で輝かしい成績を取った沖電気が廃部してから12年の歳月が流れました。本県陸上界にとって待望久しかった宮崎銀行女子陸上部は、西村功監督のもと4人の地元高校出身選手により、いよいよこの春から本格的に競技活動を始めました。宮崎には企業スポーツを代表する旭化成陸上部があり、昭和21年の創部以来、浮沈の激しい世界で、名門、古豪として日本の長距離界をけん引し続ける一方、陸上部の活動は延岡市の基本施策に位置づけられ、今ではまちづくりの指針になっています。欧米諸国には例のない我が国独特の企業スポーツとして、地域とともに歩み続ける旭化成の全面的な協力を得て発足した、宮崎銀行女子陸上部に対する私たちの期待はますます膨らむばかりです。

JAAF 一般財団法人長崎陸上競技協会

NAGASAKI

〒854-0061 諫早市宇都町 27-1 (社)長崎公園緑地協会管理事務所
分室内 TEL : 0957-21-1921 FAX : 0957-21-1921
http://jaaf-nagasaki.net

第69回国民体育大会(長崎がんばらば)を来年に控え、県立総合運動公園陸上競技場が2月中旬に完成し、今年8月には日本選手権大会の子選を兼ねた九州陸上競技選手権大会を国体のリハーサル大会として開催します。

今回、長距離走はナイターで開催することになりました。夏場の暑い時には良い記録も出ないだろうと上層部の配慮によるものです。若干の暑さは残りますが昼間の暑さと比較すると涼しくなり好レースが期待されます。

なお、当陸上競技場は、J2に昇格したV・ファーレン長崎のホームグラウンドも兼ねるために共存しなければなりません。陸上競技大会をはじめほかの競技会等の開催に支障が出ているのが頭痛の種です。

(文責/総務部長:藤島義信)

JAAF 鹿児島陸上競技協会

KAGOSHIMA

〒890-0062 鹿児島市与次郎 2-2-2 鴨池陸上競技場内
TEL : 099-259-6053 FAX : 099-259-6054
http://www.3.synapse.ne.jp/karikupage/

今年度も競技会等始まっておりますが、7月28日(日)に九州マスターズ陸上競技選手権大会を本県で開催します。本県マスターズ陸上競技連盟では、九州各県はもとより九州外からも、より多くの選手の方々に参加していただければと思います。また、自由に誰でも参加できる練習会を昨年までは年3回行っております。今年度は回数も増やし、もう少し充実したものにしてよと各種目練習に加え、日常生活にも役立つような健康づくり運動・食事・病気・怪我等について学び自分に合った健康づくりなどを考える場をもち、専門の講師による勉強会などを言画しています。記録の向上だけではなく、健康志向やいろいろな年代の方との交流等目的は様々で、気軽に参加でき楽しい本県連盟でありたい。

(文責/鹿児島マスターズ陸上競技連盟 松下 香一郎)

JAAF 一般財団法人熊本陸上競技協会

KUMAMOTO

〒861-8046 熊本市石原 2-9-1 熊本県民総合運動公園内
TEL : 096-388-1688 FAX : 096-388-1688
http://www.kumariku.org/

金栗記念第57回熊日30kmロードレース(2月17日)は、川内優輝選手(埼玉県庁)が1時間29分31秒で初優勝した。昨年に変更された新コースでは最高タイム、大会歴代6位の記録となる。女子は水口侑子選手(デンソー)が1時間43分46秒で初制覇。

県選手権(4月13~14日、県民総合運動公園陸上競技場)の男子100mは江里口匡史選手(大阪ガス)が10秒66で4連覇を達成、末續慎吾選手(ミスノ)は11秒05で2位だった。

熊本陸上競技協会は中山峰男氏(崇城大学学長)を新会長に迎え、評議員10名と理事も決定し「一般財団法人」として4月から新しいスタートを切った。また、県民総合運動公園陸上競技場の座席表示が2月、アルファベットと数字の組み合わせに改修された。

(文責/企画広報部長 永廣 憲一)

JAAF 沖縄陸上競技協会

OKINAWA

〒900-0027 那覇市山下町 18-26 沖縄県住宅供給公社2階B棟208号室
TEL : 098-996-2881 FAX : 098-996-2882
http://www.jaaf-okinawa.jp

うりずんの季節を迎え、2013年度のシーズンが始まりました。5月10日~12日の3日間で43年ぶりに九州学生陸上競技対校選手権大会が開催されます。今後は「九州はひとつ」を合言葉に、8年に1回の開催をお願いしたいと考えています。また、平成27年度には第70回九州選手権大会を初めて沖縄で開催することが決まり、やっとなら九州の仲間入りが出来たと実感しています。今年度は、役員改選年度にあたり下記のとおり決定した新たなスタートができました。

会長:國場馨(コクバ・カオル)、副会長:松元悟(マツモト・サトル)、副会長:比嘉正(ヒガ・タダシ)、副会長:吉里盛徳(ヨシザト・セイタク)、理事長:比嘉律子(ヒガ・リツコ)、副理事長:中嶋桂一(ナカサキ・ケイイチ)

JAAF 一般財団人大分陸上競技協会

OITA

〒870-0931 大分市西浜 1-1 大分市営陸上競技場 3F
TEL : 097-552-7808 FAX : 097-552-7806
http://www.d-b.ne.jp/oita-rik/

第12回大分県レディース陸上競技大会を3月24日(日)、大分市営陸上競技場で開催しました。女性審判員の育成を目的に第2回までは年2回開催していましたが、女性主任も誕生し、大会時の女性審判員の参加も多くなり所期の目的は果たせたと感じています。

10周年を記念して、当協会の小手川強二会長からフンドーキングのドレッシングを参加賞にいただき参加者に配布しました。また、初めて女性部の懇親会を開きました。大分でも流行(はや)っているスローランニングの話で盛り上がり「ホノルル・マラソンに女性部で参加しよう!」などの夢の話も出してきました。今後も、女性部の和をとりつつ応援してくれる男性審判員の協力を得ながら、さらなる審判技術の向上と普及に励みたいと思っております。

(文責/総務部長兼女性部長 羽田野 明美)



◇このページでは、各都道府県陸協から寄せられた情報を紹介しています。各陸協の掲載は3カ月に1回の頻度です。

第14回世界陸上競技選手権大会(2013/モスクワ)	
マラソン・競歩日本代表選手	198
強化関連情報(強化委員会)	200
日本陸連強化競技者・ディベロップメントアスリート専任コーチ会議報告	
日本陸連強化委員会目標方針発表・記者懇親会報告	
第40回世界クロスカントリー選手権大会報告	
(強化副委員長 木内敏夫)	201
ホクレン・ディスタンスチャレンジ2013大会要項	203
JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会専門科目開催要項	204
国際陸連(IAAF)マスターズ委員会報告(IAAFマスターズ委員会委員 室伏重信)	205
施設用器具委員会報告(12-2)(施設用器具委員会)	206
国際陸連(IAAF)クロスカントリー委員会報告(副会長 澤木啓祐)	208
2013モスクワ世界選手権参加標準記録突破者一覧	209
大会観戦ガイド	210
陸協NEWS	212
事務局からのお知らせ	214

陸連時報編集委員

◇編集委員

河野 洋平 (陸連会長)
横川 浩 (陸連副会長)
三宅 勝次 (陸連副会長)
澤木 啓祐 (陸連副会長)
尾縣 貢 (陸連専務理事)
原田 康弘 (陸連強化委員長)
風間 明 (陸連事務局長)
高橋 克実 (陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

森 泰夫

◇時報編集担当

繁田 進
石塚 浩
木越 清信
宮田 宏
本田香代子
森谷 真咲

事務局からのお知らせ

◆◇陸上競技ルールブック2013年度版
陸上競技審判ハンドブック2013-2014年度版
4月より全国の書店、ネット書店で販売開始しました。◆◇

陸上競技関係者や愛好家のための2013年度版のルールブック、審判員のための2013-2014年度版ハンドブックの発売を4月から開始しました。修正のあった国際及び日本国内陸上競技ルールを反映し、すべてのルールのほか競技場の仕様、全国の公認陸上競技場一覧などを掲載しているルールブック。競技規則を正しく把握して、審判技術の理解を深め円滑な競技会運営を実行するために審判員必携のハンドブック。お近くの書店にない場合は、電話またはホームページからもご購入いただけます。
お電話でのご注文の場合：025-780-1231 (ベースボール・マガジン社 受注センター)
ホームページからご注文の場合：ベースボール・マガジン社のホームページ <http://bookcart.sportsclick.jp>

JAAF



日本陸連公式マスコット
"アスリオン"



公 告

「陸連時報」は、公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものでありますが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願いいたします。公益財団法人 日本陸上競技連盟

陸連時報編集室

〒163-0717
東京都新宿区西新宿2-7-1
小田急第一生命ビル17階
公益財団法人日本陸上競技連盟事務局 内
TEL 03-5321-6580
FAX 03-5321-6591
ホームページ <http://www.jaaf.or.jp/>
公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>